



2020年9月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年11月6日
上場取引所 東

上場会社名 長谷川香料株式会社
 コード番号 4958 URL <https://www.t-hasegawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼社長執行役員 (氏名) 海野 隆雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼専務執行役員 (氏名) 中村 稔 TEL 03-3241-1151
 定時株主総会開催予定日 2020年12月17日 配当支払開始予定日 2020年12月1日
 有価証券報告書提出予定日 2020年12月18日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無（当社ウェブサイトにて決算説明の動画を配信予定）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年9月期の連結業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

（1）連結経営成績

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	50,192	△0.6	5,356	14.5	5,861	13.2	5,090	23.5
2019年9月期	50,493	1.5	4,678	△7.5	5,175	△6.1	4,121	0.5

（注）包括利益 2020年9月期 3,297百万円（－％） 2019年9月期 △1,270百万円（－％）

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年9月期	122.79	122.34	5.6	5.2	10.7
2019年9月期	99.07	98.77	4.5	4.5	9.3

（参考）持分法投資損益 2020年9月期 ー百万円 2019年9月期 ー百万円

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年9月期	113,445	92,218	81.1	2,217.96
2019年9月期	113,863	90,344	79.2	2,174.84

（参考）自己資本 2020年9月期 91,990百万円 2019年9月期 90,148百万円

（3）連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年9月期	6,387	△431	△1,511	25,360
2019年9月期	9,230	△2,275	△3,035	20,898

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年9月期	—	17.00	—	18.00	35.00	1,450	35.3	1.6
2020年9月期	—	18.00	—	22.00	40.00	1,658	32.6	1.8
2021年9月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		35.1	

3. 2021年9月期の連結業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,100	3.8	5,160	△3.7	5,570	△5.0	4,730	△7.1	114.04

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

新規 ー社（社名）、除外 ー社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
 ② ①以外の会計方針の変更：無
 ③ 会計上の見積りの変更：無
 ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年9月期	42,708,154株	2019年9月期	42,708,154株
② 期末自己株式数	2020年9月期	1,233,044株	2019年9月期	1,257,206株
③ 期中平均株式数	2020年9月期	41,458,341株	2019年9月期	41,601,873株

(注) 1株当たり当期純利益（連結）の算定の基礎となる株式数については、添付資料19ページ「3. 連結財務諸表及び主な注記（5）連結財務諸表に関する注記事項（1株当たり情報）」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年9月期の個別業績（2019年10月1日～2020年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年9月期	36,821	△2.2	3,704	△3.4	5,168	19.6	4,821	△4.6
2019年9月期	37,646	2.0	3,835	△3.6	4,319	△3.4	5,054	55.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年9月期	116.30	115.87
2019年9月期	121.49	121.11

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2020年9月期	104,748		86,034		81.9		2,068.85	
2019年9月期	105,876		84,624		79.7		2,036.84	

(参考) 自己資本 2020年9月期 85,805百万円 2019年9月期 84,429百万円

2. 2021年9月期の個別業績予想（2020年10月1日～2021年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,500	4.6	3,980	7.5	4,450	△13.9	3,980	△17.4	95.96

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	9
(3) 連結株主資本等変動計算書	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)	14
(会計方針の変更)	14
(追加情報)	14
(表示方法の変更)	15
(セグメント情報等)	15
(1株当たり情報)	19
(重要な後発事象)	19

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益等の改善を背景に、景気は緩やかな回復基調にあったものの、通商問題の動向や中国経済の減速等に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大が国内外の経済活動に深刻な影響を及ぼしており、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

香料業界は、国内市場の成熟化、同業者間での競争激化、品質保証に関する要求増加など依然として厳しい状況にありました。

このような環境の中で、当社グループは製品の品質管理と安全性の確保を第一に、研究・技術開発力の一層の向上に努め、当社独自の高品質・高付加価値製品の開発に注力してまいりました。一方、新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞に伴い、当社グループでは、2019年11月8日に公表した当初計画に織り込んでいた需要が見込めず、当初計画を下方修正するなど、業績への影響が生じました。

この結果、当連結会計年度におきましては、売上高は50,192百万円（前連結会計年度比0.6%減）と減収となりました。なお、当社単体の売上高は前連結会計年度比2.2%の減収、主要な海外連結子会社の売上高は、中国子会社が前連結会計年度比2.6%の増収（現地通貨ベースでは同6.7%の増収）、米国子会社が前連結会計年度比7.5%の増収（現地通貨ベースでは同9.7%の増収）、マレーシア子会社が前連結会計年度比0.5%の増収（現地通貨ベースでは同4.3%の増収）となりました。

部門別に見ますと、食品部門は、当社単体の売上が減少したものの、米国子会社及び中国子会社の売上が増加したことを主因に前連結会計年度比0.3%増加し、43,159百万円となりました。

フレグランス部門は、当社単体、中国子会社及びインドネシア子会社の売上が減少したことを主因に前連結会計年度比5.9%減少し、7,032百万円となりました。

利益につきましては、営業利益は、売上原価率の改善による売上総利益の増加、並びに販売費及び一般管理費の減少を主因に前連結会計年度に比べ677百万円（14.5%）増加し、5,356百万円となりました。経常利益は前連結会計年度に比べ685百万円（13.2%）増加し、5,861百万円となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、経常利益の増加、並びに前連結会計年度において米国子会社に係るのれん等に関して計上した減損損失がなくなったことを主因に、前連結会計年度に比べ969百万円（23.5%）増加し、5,090百万円となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

（流動資産）

前連結会計年度に比べ、現金及び預金が854百万円、有価証券が4,000百万円それぞれ増加した一方で、原材料及び貯蔵品が418百万円、投資有価証券の売却にかかる未収入金を主とした流動資産その他が1,732百万円、それぞれ減少しました。これらを主因に、流動資産は前連結会計年度に比べ2,393百万円増加し、59,013百万円となりました。

（固定資産）

有形固定資産は、前連結会計年度に比べ、建設仮勘定が1,205百万円増加した一方で、建物及び構築物が純額で211百万円、機械装置及び運搬具が純額で239百万円、売却などにより土地が221百万円、それぞれ減少したことを主因として、前連結会計年度に比べ527百万円増加し、29,345百万円となりました。

無形固定資産は、のれん、顧客関連資産の減価償却が進んだことを主因として、前連結会計年度に比べ、338百万円減少し、3,839百万円となりました。

投資その他の資産は、投資有価証券を売却したことを主因として、前連結会計年度に比べ3,001百万円減少し、21,246百万円となりました。

（流動負債）

前連結会計年度に比べ、支払手形及び買掛金が658百万円、未払法人税等が1,017百万円、それぞれ減少したことを主因として、流動負債は前連結会計年度に比べ1,448百万円減少し、10,261百万円となりました。

（固定負債）

前連結会計年度に比べ、投資有価証券を売却したことを主因として繰延税金負債が794百万円減少しました。これにより、固定負債は前連結会計年度に比べ844百万円減少し、10,965百万円となりました。

(純資産の部)

前連結会計年度に比べ、利益剰余金が3,598百万円増加し、その他有価証券評価差額金が1,989百万円減少しました。これらを主因として、純資産合計は前連結会計年度に比べ1,874百万円増加し、92,218百万円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は前連結会計年度末に比べ4,461百万円増加(前連結会計年度は3,677百万円増加)し、25,360百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果増加した資金は6,387百万円(前連結会計年度は9,230百万円増加)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益が7,028百万円、減価償却費が2,868百万円であった一方で、法人税等の支払額が2,712百万円、投資有価証券売却及び評価損益が867百万円であったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は431百万円(前連結会計年度は2,275百万円減少)となりました。これは主に定期預金の預入が2,952百万円、同払戻が2,636百万円であったことと、有形固定資産の取得による支出3,150百万円、投資有価証券の売却による収入2,578百万円が、それぞれあったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果減少した資金は1,511百万円(前連結会計年度は3,035百万円減少)となりました。これは主に配当金の支払が1,491百万円であったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年9月期	2018年9月期	2019年9月期	2020年9月期
自己資本比率	79.6 %	79.6 %	79.2 %	81.1 %
時価ベースの自己資本比率	83.3 %	84.1 %	72.6 %	77.3 %
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	0.2 %	0.03 %	0.00 %	1.63 %
インタレスト・カバレッジ・レシオ	1,147.4 倍	9,281.6 倍	13,905.7 倍	2,059.7 倍

自己資本比率	:	自己資本／総資産
時価ベースの自己資本比率	:	株式時価総額／総資産
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	:	有利子負債／キャッシュ・フロー
インタレスト・カバレッジ・レシオ	:	キャッシュ・フロー／利払い

- (注) 1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
 2. 株式時価総額は、自己株式を除く発行済株式数をベースに計算しております。
 3. キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。
 4. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後のわが国経済は、新型コロナウイルスの感染拡大の影響が長期化していることにより、国内外の経済活動の動向等が懸念され、先行きが不透明な状況が続くことが見込まれます。

香料業界におきましても、各社のシェア獲得競争の一層の激化、品質保証に関する要求増加など厳しい状況が続くことが予想されます。

このような状況の中で、当社グループは、「技術立社」の社是のもと、研究・技術開発力の一層の向上により、特長のある差別化された製品開発を行うとともに、生産性の向上や業務全般の効率化によるコスト削減に努めてまいります。

また、少子高齢化に伴う成熟化が進行する国内市場でのシェア拡大に努める一方で、今後の当社の成長を追求するためには、グローバル展開を更に強化していくことが不可欠です。当社が重点地域と位置付ける中国、東南アジアを中心としたアジア地域及び米国において、経営資源を効率的に投入し、市場の成長性や消費者の嗜好等を的確に捉え、変化の著しい経営環境に迅速かつ柔軟に対応可能な事業戦略を立案・推進してまいります。また、将来にわたる持続的成長の実現に向けた投資や国内外での業務提携等の必要な施策を行い、海外市場での業績拡大を目指してまいります。

新型コロナウイルスの今後の収束時期を正確に予測することは困難な状況ではありますが、当社グループは2021年9月期第2四半期まで新型コロナウイルスの影響が継続すると仮定しております。その仮定に基づき、2021年9月期通期の連結売上高は52,100百万円（前連結会計年度比3.8%増）、営業利益は5,160百万円（前連結会計年度比3.7%減）、経常利益は5,570百万円（前連結会計年度比5.0%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は4,730百万円（前連結会計年度比7.1%減）を予定しております。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、グループ経営基盤のより一層の強化と今後の事業展開のために必要な内部留保を確保しつつ、株主の皆様様に業績に応じた利益還元を図るため、連結ベースで配当性向35%程度を目途に中間配当と期末配当の年2回の剰余金の配当を行うことを基本方針としております。

なお、当社は、「会社法第459条第1項の規定に基づき、取締役会の決議をもって剰余金の配当等を行うことができる」旨定款に定めており、剰余金の配当は取締役会を決定機関としております。

当事業年度の年間配当につきましては、1株当たり40円の配当（うち中間配当18円）を実施することを決定いたしました。この結果、当事業年度の連結ベースの配当性向は32.6%となりました。

内部留保資金につきましては、設備投資とグローバル化戦略の展開を図るための有効投資に使用してまいります。

なお、当事業年度に係る剰余金の配当は以下のとおりであります。

決議年月日	配当金の総額（百万円）	1株当たり配当額（円）
2020年5月8日取締役会決議	746	18
2020年11月6日取締役会決議	912	22

次期の年間配当につきましては、1株当たり40円（うち中間配当20円）を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針であります。なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,730	16,584
受取手形及び売掛金	15,792	15,471
有価証券	7,999	12,000
商品及び製品	7,236	7,161
仕掛品	107	170
原材料及び貯蔵品	7,320	6,901
その他	2,469	737
貸倒引当金	△35	△13
流動資産合計	56,620	59,013
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,220	38,942
減価償却累計額	△22,093	△23,027
建物及び構築物(純額)	16,127	15,915
機械装置及び運搬具	34,474	34,926
減価償却累計額	△30,239	△30,931
機械装置及び運搬具(純額)	4,234	3,995
工具、器具及び備品	7,169	7,432
減価償却累計額	△5,964	△6,232
工具、器具及び備品(純額)	1,205	1,200
土地	7,014	6,793
建設仮勘定	234	1,440
有形固定資産合計	28,817	29,345
無形固定資産		
のれん	716	572
顧客関連資産	2,609	2,414
その他	851	852
無形固定資産合計	4,177	3,839
投資その他の資産		
投資有価証券	22,680	19,838
繰延税金資産	740	614
退職給付に係る資産	18	17
その他	857	828
貸倒引当金	△48	△51
投資その他の資産合計	24,248	21,246
固定資産合計	57,243	54,431
資産合計	113,863	113,445

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年9月30日)	当連結会計年度 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,401	4,743
1年内返済予定の長期借入金	0	—
未払法人税等	1,648	630
賞与引当金	1,296	1,431
役員賞与引当金	61	74
その他	3,301	3,381
流動負債合計	11,709	10,261
固定負債		
繰延税金負債	3,787	2,992
退職給付に係る負債	6,998	7,121
資産除去債務	68	69
長期未払金	887	648
その他	68	131
固定負債合計	11,809	10,965
負債合計	23,519	21,226
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,364	5,364
資本剰余金	7,297	7,298
利益剰余金	67,570	71,169
自己株式	△1,856	△1,820
株主資本合計	78,377	82,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,540	11,551
為替換算調整勘定	△1,459	△1,316
退職給付に係る調整累計額	△309	△256
その他の包括利益累計額合計	11,771	9,978
新株予約権	195	228
純資産合計	90,344	92,218
負債純資産合計	113,863	113,445

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
売上高	50,493	50,192
売上原価	31,373	30,783
売上総利益	19,120	19,408
販売費及び一般管理費		
荷造運搬費	927	947
給料及び手当	5,983	6,114
賞与引当金繰入額	860	954
役員賞与引当金繰入額	61	74
退職給付費用	528	524
福利厚生費	1,229	1,152
減価償却費	942	885
のれん償却額	354	135
その他	3,553	3,263
販売費及び一般管理費合計	14,441	14,052
営業利益	4,678	5,356
営業外収益		
受取利息	90	95
受取配当金	341	307
その他	113	138
営業外収益合計	544	541
営業外費用		
支払利息	0	3
為替差損	29	10
その他	17	22
営業外費用合計	47	36
経常利益	5,175	5,861
特別利益		
固定資産売却益	—	359
投資有価証券売却益	2,665	867
特別利益合計	2,665	1,227
特別損失		
減損損失	2,317	—
固定資産廃棄損	58	59
特別損失合計	2,376	59
税金等調整前当期純利益	5,464	7,028
法人税、住民税及び事業税	2,146	1,774
法人税等調整額	△803	163
法人税等合計	1,343	1,938
当期純利益	4,121	5,090
親会社株主に帰属する当期純利益	4,121	5,090

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
当期純利益	4,121	5,090
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,712	△1,989
為替換算調整勘定	△1,721	142
退職給付に係る調整額	41	52
その他の包括利益合計	△5,392	△1,793
包括利益	△1,270	3,297
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△1,270	3,297
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,295	64,917	△309	77,268
当期変動額					
剰余金の配当			△1,468		△1,468
親会社株主に帰属する当期純利益			4,121		4,121
自己株式の取得				△1,565	△1,565
自己株式の処分		1		19	20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	1	2,653	△1,546	1,108
当期末残高	5,364	7,297	67,570	△1,856	78,377

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	17,253	261	△350	17,164	149	94,582
当期変動額						
剰余金の配当						△1,468
親会社株主に帰属する当期純利益						4,121
自己株式の取得						△1,565
自己株式の処分						20
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△3,712	△1,721	41	△5,392	45	△5,346
当期変動額合計	△3,712	△1,721	41	△5,392	45	△4,237
当期末残高	13,540	△1,459	△309	11,771	195	90,344

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	5,364	7,297	67,570	△1,856	78,377
当期変動額					
剰余金の配当			△1,492		△1,492
親会社株主に帰属する当期純利益			5,090		5,090
自己株式の取得				△0	△0
自己株式の処分		0		35	36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	0	3,598	35	3,634
当期末残高	5,364	7,298	71,169	△1,820	82,012

	その他の包括利益累計額				新株予約権	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	13,540	△1,459	△309	11,771	195	90,344
当期変動額						
剰余金の配当						△1,492
親会社株主に帰属する当期純利益						5,090
自己株式の取得						△0
自己株式の処分						36
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△1,989	142	52	△1,793	32	△1,760
当期変動額合計	△1,989	142	52	△1,793	32	1,874
当期末残高	11,551	△1,316	△256	9,978	228	92,218

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	5,464	7,028
減価償却費	3,019	2,868
減損損失	2,317	—
のれん償却額	354	135
長期未払金の増減額 (△は減少)	△27	△238
株式報酬費用	66	69
賞与引当金の増減額 (△は減少)	19	134
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2	12
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	31	△18
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	231	198
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	2	1
受取利息及び受取配当金	△431	△403
支払利息	0	3
為替差損益 (△は益)	22	23
有形固定資産売却損益 (△は益)	1	△318
無形固定資産売却損益 (△は益)	—	△39
固定資産廃棄損	58	59
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	△2,665	△867
売上債権の増減額 (△は増加)	1,118	351
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△322	437
仕入債務の増減額 (△は減少)	190	△661
未払消費税等の増減額 (△は減少)	106	△56
その他	458	△13
小計	10,018	8,704
利息及び配当金の受取額	416	397
利息の支払額	△0	△3
法人税等の支払額	△1,203	△2,712
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,230	6,387
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△3,234	△2,952
定期預金の払戻による収入	2,091	2,636
有形固定資産の取得による支出	△2,056	△3,150
有形固定資産の売却による収入	4	590
有形固定資産の除却による支出	△24	△30
無形固定資産の取得による支出	△90	△108
無形固定資産の売却による収入	—	42
投資有価証券の取得による支出	△34	△36
投資有価証券の売却による収入	1,069	2,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,275	△431

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1	△0
自己株式の取得による支出	△1,565	△0
自己株式の売却による収入	0	0
リース債務の返済による支出	—	△19
配当金の支払額	△1,468	△1,491
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,035	△1,511
現金及び現金同等物に係る換算差額	△242	17
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,677	4,461
現金及び現金同等物の期首残高	17,221	20,898
現金及び現金同等物の期末残高	20,898	25,360

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)

(連結の範囲の重要な変更)

当連結会計年度において、当社の連結子会社であったFLAVOR INGREDIENT HOLDINGS, LLCは、当社の連結子会社であるT. HASEGAWA U. S. A., INC. を存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。

(会計方針の変更)

(顧客との契約から生じる収益(ASC第606号)の適用)

当連結会計年度より、米国会計基準を適用する米国子会社においてASC第606号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に与える影響はありません。

(IFRS16号「リース」の適用)

当連結会計年度より、日本基準を採用する当社及び国内子会社、並びに米国会計基準を適用する米国子会社を除き、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則すべてのリースについて資産及び負債を認識することといたしました。

当該会計基準の適用が連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(追加情報)

(新型コロナウイルスの感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

新型コロナウイルスの感染拡大による経済活動の停滞に伴い、当社グループでは、当初計画に織り込んでいた需要が見込めず、当初計画を下方修正するなど、業績への影響が生じております。新型コロナウイルスの今後の収束時期を正確に予測することは困難な状況であります。当社グループは2021年9月期第2四半期まで新型コロナウイルスの影響が継続すると仮定しております。

固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性については、上記を考慮して見積り及び判断を行っておりますが、現時点において当連結会計年度における見積りに大きな影響を与えるものではないと判断しております。

(自己株式の取得)

当社は、2020年3月27日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、下記のとおり自己株式取得に係る事項について決議いたしました。

1. 自己株式の取得を行う理由

経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するとともに、資本効率の向上と株主還元の実現を図るため。

2. 取得に係る事項の内容

(1) 取得対象株式の種類：普通株式

(2) 取得し得る株式の総数：1,000,000株(上限)

(発行済株式総数(自己株式を除く)に対する割合 2.4%)

(3) 株式の取得価額の総額：2,000百万円(上限)

(4) 取得期間：2020年3月30日～2020年9月30日

3. 自己株式の取得結果

取得期間	取得株式数(株)	取得価額(円)
2020年3月30日～2020年9月30日	—	—

2020年3月27日開催の取締役会決議後の市場価格と、決議時に設定した取得期間における買付条件に乖離があったため、決議した取得期間中に自己株式を取得することができませんでした。

(表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

前連結会計年度において「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「有形固定資産売却損益(△は益)」は金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記しております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において「営業活動によるキャッシュ・フロー」に表示していた「その他」460百万円は、「有形固定資産売却損益(△は益)」1百万円、「その他」458百万円として組み替えております。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、当社取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは各種香料を生産・販売しておりますが、中国・マレーシア・米国における生産と販売、そしてインドネシアにおける販売を現地法人が担当し、それ以外の国外と国内については当社が担当しております。現地法人はそれぞれ独立した経営単位であり、当社が作成したグローバル戦略に基づき、各地域における戦略を立案し、事業活動を展開しております。したがって、当社グループは、生産・販売体制を基礎とした各会社の所在地別のセグメントから構成されており、「日本」、「アジア」、「米国」の3つを報告セグメントとしております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されているセグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,945	7,841	5,706	50,493	—	50,493
セグメント間の内部売上高又は振替高	711	197	132	1,041	△1,041	—
計	37,657	8,039	5,838	51,535	△1,041	50,493
セグメント利益	3,872	540	149	4,563	115	4,678
セグメント資産	106,285	16,684	8,064	131,035	△17,171	113,863
その他の項目						
減価償却費	2,076	554	388	3,019	—	3,019
受取利息	12	85	3	101	△11	90
支払利息	0	0	11	12	△11	0
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,390	175	238	1,804	—	1,804

(注) 1. セグメント利益の調整額115百万円は、内部損益取引に係る調整額64百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額52百万円、その他△1百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△17,171百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△17,034百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△136百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注1) (注2)	連結財務諸表 計上額 (注3)
	日本	アジア	米国	計		
売上高						
外部顧客への売上高	36,130	7,923	6,138	50,192	-	50,192
セグメント間の内部売上高又は振替高	700	173	115	989	△989	-
計	36,831	8,096	6,254	51,181	△989	50,192
セグメント利益	3,729	1,029	549	5,307	48	5,356
セグメント資産	105,132	17,080	8,867	131,080	△17,635	113,445
その他の項目						
減価償却費	1,959	534	374	2,868	-	2,868
受取利息	10	90	4	105	△9	95
支払利息	0	4	5	9	△6	3
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	1,507	456	1,516	3,481	-	3,481

(注) 1. セグメント利益の調整額48百万円は、内部損益取引に係る調整額48百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額3百万円、その他△3百万円であります。

2. セグメント資産の調整額△17,635百万円は、セグメント間取引に係る内部取引及び全社資産の調整額△17,464百万円、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額△171百万円、その他0百万円であります。

3. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位:百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	7,474	43,018	50,493

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
33,120	11,572	5,358	442	50,493

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
20,227	6,538	2,051	—	28,817

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2019年10月1日 至 2020年9月30日）

1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：百万円)

	フレグランス	食品	合計
外部顧客への売上高	7,032	43,159	50,192

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	アジア地域	北米地域	その他	合計
32,448	11,571	5,764	408	50,192

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	米国	その他	合計
19,462	6,604	3,277	—	29,345

(注) 有形固定資産の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
減損損失	36	—	2,281	—	2,317

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	140	213	—	354
当期末残高	—	716	—	—	716

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位:百万円)

	日本	アジア	米国	その他	合計
当期償却額	—	135	—	—	135
当期末残高	—	572	—	—	572

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)		当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	
1株当たり純資産額	2,174円84銭	1株当たり純資産額	2,217円96銭
1株当たり当期純利益金額	99円07銭	1株当たり当期純利益金額	122円79銭
潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	98円77銭	潜在株式調整後1株当たり当期 純利益金額	122円34銭

(注) 1株当たり当期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2018年10月1日 至 2019年9月30日)	当連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)
1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益金額 (百万円)	4,121	5,090
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益金額(百万円)	4,121	5,090
期中平均株式数(株)	41,601,873	41,458,341
潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額 (百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	128,509	154,859
(うち新株予約権(株))	(128,509)	(154,859)

(重要な後発事象)

該当事項はありません。